

デジタル時代の著作権協議会(CCD)
平成16年度第3回著作権ビジネス研究会 議事録

日時：平成16年9月3日(金)14:00～16:00

場所：CRIC会議室

- 議案：1.「電子透かしのリアルタイム埋め込みシステム」のプレゼンテーション
(株)日立製作所ユビキタスプラットフォームグループ広報渉外部長・田胡修一氏
同 システム開発研究所第7部主任研究員・山田隆亮氏
2. 権利情報の公開・共有化の検討(ケーススタディ・2)
3. その他

議事内容：

議案1.「電子透かしのリアルタイム埋め込みシステム」のプレゼンテーション

(株)日立製作所の開発した新しい技術「電子透かしのリアルタイム埋め込みシステム」をご紹介します。

このシステムは、ソフトウェアベースのもので、放送などで使用する大きなものではなく、それよりも一回り小さい映像を対象としている。従来の電子透かし埋め込みシステムと大きく異なる点は、埋め込み処理をリアルタイムで行える点である。これまでは、1時間の映像に対して3～4時間の埋め込み処理作業時間がかかり大変大きな障壁となっていたが、新しい技術を使えば1時間の映像を1時間の作業時間で済ませることができる。また、ソフトウェアなので、どこにでもあるPCに気軽に導入してもらえ、バージョンアップが容易、他の業務システムとの連動できるなどの利点もある。

リアルタイムでの電子透かし埋め込み技術は、ライブ映像の配信に際して著作権保護が出来た状態でエンドユーザーに届けられるなど、即時性を要求されるコンテンツに非常に有効である。例えば、スポーツ番組、大統領の演説、天気予報などの分野で応用が可能であり、他に塾の衛星番組配信、企業IRの配信にも活用可能である。実績としては美術品の映像、デジタル写真、ストリーミング配信、また画像データの流出防止などに使用されている。

議案2. 権利情報の公開・共有化の検討(ケーススタディ・2)

菅原主査より、共通メタデータの検討をするにあたり、情報の共有をしていくときに、権利の違い、コンテンツの違い、流通のレイヤーによって最低限どんな情報が必要なのかを一度整理していきたいとの提案があった。比較検討の材料として、平成14年度に経産省の委託を受けてDCAJが行った検討の報告書(コンテンツ流通促進のための事業者間EDI実態調査及び実証実験報告書)の抜粋が示された。共通項目として、最低限必要な項目を引っ張り上げ、2番目として、必須の範囲ではないがほぼ不可欠なもの、最後に参考的であればいいもの、として項目を抽出すれば、各コンテンツの流通で何が必要か、コンテンツと権利者の間で何が必要か、という整理ができるのではないかと、との提案があった後、参加者から意見を頂戴した。

議案3．その他

次回の著作権ビジネス研究会は10月6日(水)14:00～ CRIC 会議室で開催予定です。

以上